

## 令和 5 年度企画展-北栄町の歴史-

### 発掘された人骨からわかること

#### ～考古学と DNA 分析からわかる古代の北栄町～

本日は、北栄町の歴史の企画展「発掘された人骨からわかることと」～考古学と DNA 分析からわかる古代の北栄町～と題して、講演会を開催しましたところ、多くの皆さんに参加いただき、感謝申し上げます。また、本日は、講師として、国立科学博物館館長の篠田館長においでいただきました。大変お忙しいところ、快く引き受けていただきました。ありがとうございます。本日は、どうぞ、よろしく申し上げます。

ご案内にもありますように、町内の調査された古墳のうち、13 基から人骨が出土しているということです。その出土した骨などから、当時の生活の様子や人々の特徴などがわかるということです。そういうところも含め、本日は、大変興味深いお話が聞けると楽しみにしております。

昨日、この報告書を見ることがあり、私の住んでいる下種にも古墳がありました。下種古墳群というのがあり、どうも私の畑のところのようです。昭和 60 年ごろ、県営の畑地帯総合土地改良事業が始まりましたが、その事業の前の調査で発見されたようです。しかも、人骨らしきものも見えるというもので、さ

っそく父に確認したら「そうだ」ということでした。そういうこともあり、個人的も本日の話は興味あるところです。

なお、北栄みらい伝承館でも、本日から4月7日まで関連した企画展考古学とDNA分析からわかる古代の北栄町を企画していますので、ご覧いただけたらと思います。

本日の会が皆様にとって、実り多き会となりますことを祈念して、開会にあたってのあいさつとします。

令和6年3月2日

北栄町長 手嶋俊樹